



# 校報 照来っ子

照来小学校  
第 1 号

令和 5 年 4 月 7 日

## 令和 5 年度 始業式 ～ご進級おめでとうございませす～

本日の朝は、照来盆地在霞んで見える小雨模様でした。しかし、子ども達の登校する様子からは、「うきうき」「わくわく」と希望に満ちた春爛漫を感じました。

今日から学校はスタート、始業式で 43 名の子どもたちが進級しました。おめでとうございませす。ステージから見る子ども達一人ひとりの姿も、いきいきと輝いていました。本年度も全職員一丸となつて、やる気に満ちあふれた子どもたちの気持ちを大切にしながら、一人ひとりに寄り添い、よさを認め伸ばしていきます。

本年度も、保護者の方をはじめご家族の皆様、何卒本校教育活動の推進へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

### ◎学校経営方針(案)

【学校教育目標】 「ふるさとを愛し ころ豊かに

未来を創り出す子どもの育成」

### —自分で 考え・判断・行動できる いきいきと輝く 照来っ子—

#### <めざす児童像>

- ☆ 自ら聞き、考え、いきいきと表現する 学び合う子
- ☆ 認め、支え、高め合い、他者のために、よりよい言動が取れる子
- ☆ 自他の健康・命を大切に守り育む子
- ☆ ふるさとに誇りを持ち、その魅力を発信できる子

◎照来っ子 4 つの約束を実行できる子

「あいさつ・へんじ そうじ あとしまつ ことばづかい」



#### <めざす学校像>

- ☆ 学ぶ楽しさ、できる喜びにあふれる学校
- ☆ 一人一人が認められ、よさを伸ばす学校
- ☆ 教育環境が整備され、安全で安心感のある学校
- ☆ 家庭や地域が参画し、共に学び合う学校

#### <めざす教職員像>

- ☆ 子どもに寄り添い、よさを引き出し伸ばす教職員
- ☆ 魅力ある授業づくりに向け、学び合う教職員
- ☆ プラス思考、活力、機動力のある教職員
- ☆ 子どもの模範となる、信頼される教職員

本年度の学校教育目標や合言葉等、昨年度のものを継続します。昨年度 3 学期に、「学習したことを他の学年の人達に発表したい」「卒業生にお返しのプレゼントを作りたい」「こんな児童会行事をしたい」等、子ども達の自発性がみられるようになりました。このような姿をもっともっと増やしていきたいと考え、目標等を継続させることにしました。

学校教育が目指すものは、人格形成を通しての自立と共生社会の実現だと考えます。引き続き、自分でしっかり物事を見たり聴いたりして考えを持ち、よりよい判断を行い、積極的に行動に移せるような子ども達を育てていきたいです。

子ども達の行動がうまくいかない時でも、すぐに大人が手を出すのではなく、温かく見守り、まず子どもたち自身に考えさせることが重要です。子ども達に任せてみることを多くし、待つ姿勢も大切にしていきたいです。内容によりますが、ご家庭でも、お子さんが困っている時に、すぐに助けてあげるのではなく、見守る姿勢を大切に、自分でできることや解決できることは自分でできていただけたらと考えます。

また、自分や自分達(仲間)だけさえよければよいという考えではなく、全体のことも考えた判断や行動をしていくことを大事にしていきたいです。そのことで「自分もいきいき、皆もいきいき、職員もいきいき」そんな学校づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

○本年度職員組織 (計 17名)

校 長	西岡 敬敬	5年担任	寺谷 優香	スクールアシスタント	大麻早百合
教 頭	中沢 泰明	6年担任	松岡 和毅	養 護	西崎 千奈
1年担任	井上 優里	特別支援学級	谷口 涼子	事 務	朝野 百花
2年担任	稲木 健男	学校生活支援(通級指導)	阪本 善行	用 務 員	村尾 間治子
3年担任	井上 顕登	学習システム	段畑 理恵子	スクールポートスタッフ	福井 美佐
4年担任	中家 亜希	司 書	岡野 直子		

※西岡敬敬と阪本善行は、定年退職後の再任用として、引き続き照来小学校でお世話になります。

※転出・転入・復職者

退職・転出者 ~大変お世話になりました。~		転入者~よろしくお願ひいたします。	
(教頭) 山本 和正	浜坂東小学校へ	中沢 泰明	浜坂中学校より
中安 祥子	浜坂北小学校へ	稲木 健男	浜坂東小学校より
米田 信夫	浜坂西小学校へ	寺谷 優香	浜坂南小学校より
松崎 貴史	浜坂西小学校へ	中家 亜希	浜坂南小学校より
熊本 昌子	浜坂中学校へ	谷口 涼子	照来小学校へ復職
(SA) 北村さとみ	退 職		



<新型コロナウイルス感染予防対策におけるマスク着用等について>

1 基本的な考え方

学校教育活動において、児童に対して、マスクの着用をも求めない。但し、マスクの着用について以外は、これまでの感染予防対策を継続していく。

2 マスク着用を推奨する場面

○登下校のバス車中 ○給食準備中と、食べ終わって全体で「ごちそうさま」を言うまで  
(黙食は必要ない、マナーを守っての会話を)

○校外学習等で訪問した医療機関や高齢者施設等の中

○新型コロナウイルス感染症等の感染症が流行した場合 ○咳やくしゃみがひどく出る時

3 感染リスクが比較的高い学習活動に対する対策

一定の感染症対策を講じ、マスクを着用しなくてよい

(1) 十分な換気

(2) 大きな声を出さない

○少人数のグループ活動時での会話 ○近距離で向かい合っでの発声

※歌唱時、体の中心から前方1m程度・左右50cm程度を目安とした距離を確保し、向かい合わない

(3) 触れ合わない程度の距離を確保

○試食の際、向かい合わせにしない、向かい合わせにする場合には対面の座席間に一定の距離(1m程度)を確保する。



4 マスクの携帯

○給食袋の中に1枚(バス車中使用マスク兼用可) ○常にランドセルの中に予備マスク1枚

5 留意事項

○マスクの着脱を強いることはしない、マスクの着用の有無による差別・偏見等がないように適切な指導をおこなう。

※朝のご家庭での健康観察と検温、「健康チェック表」の記入と提出も引き続きよろしくお願ひします。尚、新型コロナウイルス感染症は、5月8日に5類感染症に位置付けられる予定です。それに伴い、今後マスク着用以外の感染症対策についても大きな見直しが行われると考えます。お忙しいとは思いますが、引き続きの対応をよろしくお願ひいたします。